

## 《単位互換提供科目詳細（シラバス）》

\* 科目 No. 2119

## 科目概要記入欄

1. 開設大学	広島大学 生物生産学部		開催 方法	■対面（附属練習船・豊潮丸）											
				□オンライン（同時・録画・資料提示）											
				□その他（ ）											
	正式科目名 副題	飢餓・貧困解決を目指したグローバル洋 上演習		配当年次	2-3										
				受入学年	2-3										
	学問分野	番号	33	名 称	水産学										
3. 担当教員名	小池一彦・小原静夏														
4. 単位数	1 単位	5. 開講学期	後期集中												
6. 開講期間 曜日・時間	2022年10月11日（火）～2022年10月12日（水）														
7. 基礎知識の有無	1. 「基礎知識を必要とする科目」（SDGsに関する基礎知識、英語会話能力） 2. 「基礎知識を必要としない科目」														
8. 募集人数	3 人	9. 選考方法	上級生から受入れ												
10. 科目内容・ 授業計画	<p>広島大学生物生産学部附属練習船・豊潮丸は、令和4年度より第三期教育関係共同利用拠点に認定され、学外に向け共同利用の機会を提供しています。新たに提供する本科目では、タイ・インドネシア・ミャンマー等のアセアンの中でも特に水産依存度が高い国々から来日した留学生と共に一泊二日の航海を体験します。特にSDGs達成に貢献する水産人材を育成することを念頭に置き、瀬戸内海の水産業の見学、漁業者との対談、実際の海洋観測を通じた問題発見から、世界の貧困人口が集中する沿岸域の持続的発展に、水産業がどのように貢献できるか学生同士で議論します。海に根ざした文化を理解するために、厳島神社への見学も含まれます。 ※授業計画は新型コロナウイルス感染症の状況や、天候等の理由により、開講の中止や内容の一部変更があり得ます。全ての内容は英語にて実施します。</p> <table border="1"> <tr> <td rowspan="2">10/11 (火)</td> <td>午前</td> <td>●呉市宝町の練習船基地に集合、乗船、船内ガイダンス</td> </tr> <tr> <td>午後</td> <td>●厳島神社見学：留学生に対して英語によるガイドを体験 ●牡蠣養殖現場の見学、漁業者との対談：牡蠣養殖が直面する課題</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">10/12 (水)</td> <td>午前</td> <td>●海洋観測実習：海底の状態の観察、食物連鎖の起点となる植物プランクトン生産量の測定</td> </tr> <tr> <td>午後</td> <td>●各国の沿岸域における飢餓・貧困の現状紹介（事前準備のうえ学生同士のプレゼンテーションを実施） ●それを解決する方策の立案（学生プレゼンテーション）</td> </tr> </table>					10/11 (火)	午前	●呉市宝町の練習船基地に集合、乗船、船内ガイダンス	午後	●厳島神社見学：留学生に対して英語によるガイドを体験 ●牡蠣養殖現場の見学、漁業者との対談：牡蠣養殖が直面する課題	10/12 (水)	午前	●海洋観測実習：海底の状態の観察、食物連鎖の起点となる植物プランクトン生産量の測定	午後	●各国の沿岸域における飢餓・貧困の現状紹介（事前準備のうえ学生同士のプレゼンテーションを実施） ●それを解決する方策の立案（学生プレゼンテーション）
10/11 (火)	午前	●呉市宝町の練習船基地に集合、乗船、船内ガイダンス													
	午後	●厳島神社見学：留学生に対して英語によるガイドを体験 ●牡蠣養殖現場の見学、漁業者との対談：牡蠣養殖が直面する課題													
10/12 (水)	午前	●海洋観測実習：海底の状態の観察、食物連鎖の起点となる植物プランクトン生産量の測定													
	午後	●各国の沿岸域における飢餓・貧困の現状紹介（事前準備のうえ学生同士のプレゼンテーションを実施） ●それを解決する方策の立案（学生プレゼンテーション）													
11. 試験・評価方法	受講態度 50 点、計 2 回の船内プレゼンテーション 50 点														
12. 別途負担費用	約 3,000 円（初日夕食、二日目朝食・昼食代、シーツ洗濯代など） ※ 現地で徴収します。別途、宮島での昼食代（夕食）、拝観料は自己負担 ※ 乗下船地への旅費は自己負担 ※ 開催 10 日前以降の履修の辞退の場合、食費該当分はお支払い頂きます。														

13. その他特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 事前に学生教育研究災害傷害保険および学研災付帯賠償責任保険（財団法人日本国際教育支援協会）に加入しておいてください。</li> <li>● 広島大学の新型コロナウイルス感染防止対策レベルに応じ、乗船最大人数、乗船前 PCR 検査の必要性、まん延防止措置・緊急事態宣言発出の都道府県への移動履歴等の要件が異なります。実習 1 ヶ月前を目処に、対策レベルに応じた行動要件を通知します。対策レベルにかかわらず、以下の 3 点は厳守していただきます。             <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 演習開始直近 2 週間、毎日検温を行い体温が 37.5℃を超えていない。</li> <li>2. 2 週間分の健康確認・行動記録表を作成し、演習に持参する。</li> <li>3. 演習当日の体温が 37.5℃以下であること。</li> </ol> </li> <li>● 集合日時： 10 月 11 日（火） 9：30 ※集合時間を厳守してください。欠員があっても定刻に出港します。</li> <li>● 解散日時（多少の前後はあり得ます）：10 月 12 日（水） 16：00</li> <li>● 集合・解散場所：広島大学生物生産学部 附属練習船基地 〒737-0029 広島県呉市宝町 7-4（電話 0823-23-4853） JR 広島駅から JR 呉駅約 35 分（快速），JR 呉駅より徒歩約 15 分 練習船基地 位置図 <a href="https://toyoshio.hiroshima-u.ac.jp/kiti/kitimap.html">https://toyoshio.hiroshima-u.ac.jp/kiti/kitimap.html</a></li> <li>● 各自持参するもの 医療保険証，運動靴，船酔止薬，作業着（長袖，長ズボン，帽子），ノート PC（必須），筆記用具，洗面具，タオル，入浴用品，身の回り品等 ※ショートパンツ，ランニングシャツ，サンダル，スリッパ等では作業できません。 ※長靴，雨具は貸与します。 ※タオル，入浴用品は船内に備えていません。各自持参して下さい。</li> <li>● やむなく辞退する場合は，速やかに所属大学担当部署及び広島大学生物学系総括支援室に申し出て下さい。</li> <li>● 問い合わせ先：広島大学生物学系総括支援室（学士課程担当） 〒739-8528 東広島市鏡山 1-4-4 TEL：082-424-4323 E-mail：sei-gaku-sien@office.hiroshima-u.ac.jp</li> <li>● 履修希望学生に対する連絡 履修決定者には担当者より履修願に記載されたメールアドレス宛に電子メールで連絡があります。履修希望届を提出した学生は，担当者のメールアドレス（kazkoike@hiroshima-u.ac.jp）からの電子メールを受信できるように設定し，電子メールを定期的に確認してください。また，メールアドレスを変更した場合は，速やかに所属大学担当部署と広島大学生物学系総括支援室に必ず連絡してください。</li> </ul> <p>* 新型コロナウイルスの感染状況により，大幅な計画変更あるいは実習中止となる可能性があります。</p>		
14. 社会人受講	科目等履修生（単位付与）として受け入れ	可	否
	聴講生（単位認定不要）として受け入れ	可	否

※コロナ禍の影響により、対面授業はオンライン（同時・録画・資料）へ変更になる場合があります。